

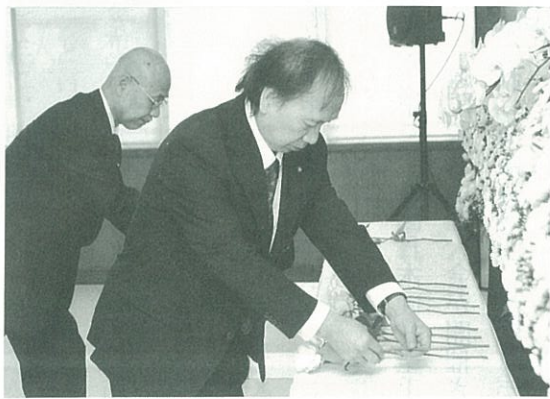
## 安達學先生のお別れの会に参列して

竹田 豊

平成二十七年十月十一日、濱田代表理事に同行して岡山県岡山市みどり保育園にて執り行われた安達學先生のお別れの会に出席しました。保育園内の広場に入ると左手に安達先生を偲ぶ数々の遺品が展示されていました。展示された写真の中には前総裁東伏見慈治様と御一緒のお写真もあり、武徳会関係の展示品がほとんどを占めていました。保育園の教室である会場に入ると、剣道範士十段安達學先生の眼光炯々、対戦相手に対応するかのような遺影が飾られていました。会場は、ご家族、ご親戚の方たち、保育園関係者や仕事関係者の方が多数参列されていました。

式典は、お別れの会喪主の安達正純先生のご挨拶から始まり、発起人代表者の弔辞、各代表者の弔辞へと続きました。弔辞の全てに大日本武徳会剣道範士十段を授与されたことの誇りを、生前まわりの人たちにお話されていたことを、うかがわせるお言葉が述べられました。

お別れの会は肅々と進み、最後に参列者の献花に移り、お別れの会は幕となりました。



安達學先生は戦中の二十数年を経験され、そして戦後は保育事業や剣道を通じて、青少年の教育と育成に多大なお力を注ぎ、また事業の拡大を図り雇用の機会を提供し、生活の安定に寄与し、今日に至りましたと、ご子息正

純先生のご挨拶がありました。個人の幸せだけでなく社会全体の幸せが大事であるという気持は、長年の剣道を通じて心身の修練に努めることで出来上がった結果ではなからうかとも語っていました。

現役時代の安達學先生を御存知の先生方が数少なくなりました。大日本武徳会の一時代を指導していただいた安達學先生のご冥福を、改めてお祈り申し上げます。

